

あす Navi

視聴覚教材センターだより

全国自作視聴覚教材 コンクール 結果報告 & 作品紹介

事業の様子は Facebook で!



フォロー&いいね!
お願いします



2年ぶりに全国自作視聴覚教材コンクールが開催され、令和元年度・2年度の仙南ふるさとC-Mグランプリから全国へ推薦された作品のうち、大河原町自作視聴覚教材制作グループ 大脇賢次さんの『戊辰戦争と角田』と丸森町立耕野小学校 齋藤修一さんの『谷津はつね物語 ~命のリレーをつないだ人生~』の2作品が見事入賞しました。

今月号ではその2作品についてご紹介します。なお、この作品を含む自作教材は準備が整い次第貸し出しを行います。ぜひご利用ください。



【令和元年度全国推薦作品】 (映像作品)

ぼ しん せん ぞう かくだ 『戊辰戦争と角田』

大河原町自作視聴覚教材制作グループ 大脇 賢次

明治2年に日本で勃発した戊辰戦争の起こりや会津藩仙台藩を中心とする東北の諸藩が明治新政府に討伐された歴史を基にした作品です。角田が戊辰戦争とどのように関わったのかという郷土史を、石碑や従軍日記などをたよりに構成しました。

高校の社会科・日本史の単元「近世から近代へ」で、生徒が住む郷土と戊辰戦争との関わりを調べる学習を行うため、この教材を導入として使います。生徒の興味関心を高めること、調べ学習に見通しを持たせることなどを目的としています。



【令和2年度全国推薦作品】 (映像作品)

や つ ものがたり いのち じんせい 『谷津はつね物語 ~命のリレーをつないだ人生~』

丸森町立耕野小学校 齋藤 修一

丸森町耕野地区で絶大な信頼を集めた助産師「谷津はつね」。村人は親しみと尊敬をこめて「はつね産婆さん」と呼びました。雨の日も、雪の日も、風の日も自転車を押して妊婦に寄り添い、貧しい人からは代金をもらわなかったといいます。61歳で引退するまで助産師の仕事続け、37年間に取上げた赤ちゃんは4,000人。そのうち1人も命を落とさなかったそうです。丸森町の山間で命をつないできた仕事と生涯を、児童と一緒に作った紙しばいで紹介します。



仙南ふるさとC-Mグランプリ

(第44回仙南地区自作視聴覚教材発表会)



仙南地域にある歴史、文化、施設、伝統行事、民族芸能などに関する映像作品、または紙しばい作品を広く募集します。自由な視点と感性を活かした作品を作ってみませんか?

作品 募集

◎出品部門 / ・視聴覚教材部門
・記録映像部門

◎出品条件 / 出品者自身が制作した未発表の作品であること。作品の題材が仙南広域圏に関する事柄であること。

◎応募締切 / 令和4年1月28日(金)

★上映会 / 令和4年2月26日(土) えずこホール

えず☆スタ2021

～ディスisえずコスタンス～

7月22日（木・祝）えずこホールとはねっこアリーナを会場に、えず☆スタを開催しました。コロナ対策を講じた上で二部予約制で行い、今年は縁日をテーマに夏らしい体験ブースを多数ご用意しました。あずなびあでは各市町の視聴覚教育指導員さんと連携し、昨年大人気だったスフィロを使った難易度別の迷路を作成。多くの子どもたちに操作体験していただきました。



▲総合受付



▲えずこにお絵かき



▲ダンス体験ワークショップ
(大阪の最強ダンスチーム“JAM”)



▲太陽望遠鏡（柴田町星を見る会）



▲夏の音楽祭



▲えず☆スタ迷路（視聴覚教育指導員）



▲なんでも釣り



▲消火器体験（大河原消防署）

あずなびあフリースクール

スフィロとあそぶ日

7月31日（土）えずこホールの平土間ホールを会場に、あずなびあフリースクール「スフィロとあそぶ日」を開催しました。ボール型プログラミングロボット Sphero Mini（スフィロ ミニ）とiPadを使って、遊びながら楽しくプログラミングに触れてみよう！という内容です。



仙南の各市町から今回は9名の方にご参加いただきました。兄弟・姉妹でも一緒に参加していただき、協力して考えながらプログラミングに挑戦しました。

説明するとすぐに理解し、あっという間にスイスイ操作できるようになっていたみんな！iPadの傾きを使ってスフィロがコースをゴールするまでのタイムを競ったり、同じコースをプログラミングの「ブロック」を使ってクリアできるか挑戦したり。最後はみんなで「条件分岐」を使ったゲームをしました。